

技術図書に関する質問に対する回答

| | | | |
|----|------------------|--|--|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 | | |
|----|------------------|--|--|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質問事項 | 回答（発注者使用欄） |
|----|-------|---|--|--|
| 1 | 特記仕様書 | 7-4 河川内工事における施工時期 | 表の下に「なお、上記期間の前後1ヶ月は準備・片付けのみの作業ができるものとする。」と記載がありますが、この「前後1ヶ月」は表に記載された期間外で前後各々1カ月（10月と4月）と考えてよろしいでしょうか。 | そのとおりとお考え下さい。 |
| 2 | 設計図 | 13/523(数量総括表(12)) 261/523～265/523 (御麓橋（下り線）上部工炭素繊維補強工一般図) | 炭素繊維定着体について、設計図に記載の数量表ではP3:322本、P4:350本、P5:274本の計946本となっておりますが、各箇所（P3～P5）の炭素繊維定着体の本数を設計図から算出した結果、P3はそのまま322本ですが、P4が350本ではなく430本、P5が274本ではなく358本の計1110本になると思いますが、正しい数量をご教示願います。 | 令和7年7月16日付訂正公告をご確認ください。 |
| 3 | 特記仕様書 | 15-6-1工事管理者について | 本項目に「工事管理者を定め、監督員に通知しなければならない。」とあります。元請け業者に資格保有者がいない場合、外注にて契約・専任し配置でも問題ありませんか。 | 元請業者での資格保有者の配置ができない場合は、外注での配置でも問題ございません。 |
| 4 | 特記仕様書 | 15-6-3工事安全専任管理者について | 本項目に「工事安全専任管理者を定め、監督員に通知しなければならない。」とあります。元請け業者に資格保有者がいない場合、外注にて契約・専任し配置でも問題ありませんか。 | 元請業者での資格保有者の配置ができない場合は、外注での配置でも問題ございません。 |
| 5 | 特記仕様書 | 15-6-4線閉責任者について | 本項目に「線閉責任者を定め、監督員に通知しなければならない。」とあります。元請け業者に資格保有者がいない場合、外注にて契約・専任し配置でも問題ありませんか。 | 元請業者での資格保有者の配置ができない場合は、外注での配置でも問題ございません。 |
| 6 | 特記仕様書 | 15-6-3停電責任者について | 本項目に「停電責任者を定め、監督員に通知しなければならない。」とあります。元請け業者に資格保有者がいない場合、外注にて契約・専任し配置でも問題ありませんか。 | 元請業者での資格保有者の配置ができない場合は、外注での配置でも問題ございません。 |
| 7 | 割掛対象表 | 参考内訳書 | 【共通仮設費】に記載されている工事用機械を、提案において別の工事用機械に変更することは可能でしょうか。 | 貴社の施工計画に基づき必要な機械を選定して下さい。 |
| 8 | 設計図 | 42～49/523葉 犀川橋 P15橋脚 構造物掘削図 普通部A2 特殊部A1 他 | 効率的な仮土留の施工を検討するために、仮土留計算書を貸与いただくことは可能でしょうか。 | 入札公告（説明書）の別添1「貸与用電子媒体借用申込書兼貸与用電子媒体受領書兼貸与用電子媒体返却書」に記載の貸与資料の他に貸与可能なデータはございません。 |
| 9 | 特記仕様書 | 15-6-5 停電責任者 15-6-6 停電作業者 | 更埴Cランプ橋において以下の4つの作業は、停電責任者及び停電作業者を配置すべき停電工事の対象でしょうか。 ①「落橋防止構造」鋼製ブラケットC（夜2） ②「Ⅱ」アンカー工φ61・775(水平方向)（夜2） ③「Ⅱ」アンカー工φ61・865(水平方向)（夜2） ④「Ⅱ」アンカー工φ61・880(水平方向)（夜2） | そのとおりとお考え下さい。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | | | |
|----|------------------|--|--|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 | | |
|----|------------------|--|--|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質問事項 | 回答（発注者使用欄） |
|----|-------|---|--|---|
| 10 | 参考図 | 43/57葉 更埴Cランプ橋 足場計画図(その2)（参考図） | 側面図において、A2橋台の杵組足場が信号高圧線と断面上で重なっていますが、この部分は工事開始後にしなの鉄道と協議を実施し足場形状や架線防護方法を決定するのでしょうか。 | 参考図43/57に記載の通り、信号高圧線はFRP足場内を通す想定をしております。なお、足場形状については貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 11 | 特記仕様書 | P. 32 24-6 縁端拡幅工 アンカー工 $\phi a \cdot L (b)$ | アンカー削孔について、適用機械はコアボーリングマシンによる削孔を想定されていますか。適用機械について明示願います。 | 発注者の施工計画は、削孔径 ϕ が $\phi \leq 23\text{mm}$ の場合は電動ドリルを、 $23\text{mm} < \phi < 65\text{mm}$ の場合はコアボーリングを想定しております。 |
| 12 | 特記仕様書 | P. 33 24-7 落橋防止工 アンカー工 $\phi a \cdot L (b)$ | アンカー削孔について、適用機械はコアボーリングマシンによる削孔を想定されていますか。適用機械について明示願います。 | 発注者の施工計画は、削孔径 ϕ が $\phi \leq 23\text{mm}$ の場合は電動ドリルを、 $23\text{mm} < \phi < 65\text{mm}$ の場合はコアボーリングを想定しております。 |
| 13 | 特記仕様書 | P. 40 24-8 段差防止構造M アンカー工 $\phi a \cdot L (b)$ | アンカー削孔について、適用機械はコアボーリングマシンによる削孔を想定されていますか。適用機械について明示願います。 | 発注者の施工計画は、削孔径 ϕ が $\phi \leq 23\text{mm}$ の場合は電動ドリルを、 $23\text{mm} < \phi < 65\text{mm}$ の場合はコアボーリングを想定しております。 |
| 14 | 特記仕様書 | P. 42 24-9 横変位拘束構造M アンカー工 $\phi a \cdot L (b)$ | アンカー削孔について、適用機械はコアボーリングマシンによる削孔を想定されていますか。適用機械について明示願います。 | 発注者の施工計画は、削孔径 ϕ が $\phi \leq 23\text{mm}$ の場合は電動ドリルを、 $23\text{mm} < \phi < 65\text{mm}$ の場合はコアボーリングを想定しております。 |
| 15 | 特記仕様書 | P. 49 24-15 炭素繊維巻立て工 アンカー削孔 | アンカー削孔について、適用機械はコアボーリングマシンによる削孔を想定されていますか。適用機械について明示願います。 | 発注者の施工計画は、削孔径 ϕ が $\phi \leq 23\text{mm}$ の場合は電動ドリルを、 $23\text{mm} < \phi < 65\text{mm}$ の場合はコアボーリングを想定しております。 |
| 16 | 特記仕様書 | P. 56 24-22 水平力分担構造 アンカー工 $\phi a \cdot L (b)$ | アンカー削孔について、適用機械はコアボーリングマシンによる削孔を想定されていますか。適用機械について明示願います。 | 発注者の施工計画は、削孔径 ϕ が $\phi \leq 23\text{mm}$ の場合は電動ドリルを、 $23\text{mm} < \phi < 65\text{mm}$ の場合はコアボーリングを想定しております。 |
| 17 | 特記仕様書 | P. 60 24-25 橋座補強工 アンカー工 $\phi a \cdot L (b)$ | アンカー削孔について、適用機械はコアボーリングマシンによる削孔を想定されていますか。適用機械について明示願います。 | 発注者の施工計画は、削孔径 ϕ が $\phi \leq 23\text{mm}$ の場合は電動ドリルを、 $23\text{mm} < \phi < 65\text{mm}$ の場合はコアボーリングを想定しております。 |
| 18 | 特記仕様書 | P. 71 24-32 コンクリート アンカー工 $\phi a \cdot L (b)$ | アンカー削孔について、適用機械はコアボーリングマシンによる削孔を想定されていますか。適用機械について明示願います。 | 発注者の施工計画は、削孔径 ϕ が $\phi \leq 23\text{mm}$ の場合は電動ドリルを、 $23\text{mm} < \phi < 65\text{mm}$ の場合はコアボーリングを想定しております。 |
| 19 | 特記仕様書 | P. 73 24-34 あと施工せん断補強工 $\phi a \cdot L (b)$ | アンカー削孔について、適用機械はコアボーリングマシンによる削孔を想定されていますか。適用機械について明示願います。 | 発注者の施工計画は、削孔径 ϕ が $\phi \leq 23\text{mm}$ の場合は電動ドリルを、 $23\text{mm} < \phi < 65\text{mm}$ の場合はコアボーリングを想定しております。 |
| 20 | 特記仕様書 | P. 75 24-35 横変位拘束構造RCブロック アンカー工 $\phi a \cdot L (b)$ | アンカー削孔について、適用機械はコアボーリングマシンによる削孔を想定されていますか。適用機械について明示願います。 | 発注者の施工計画は、削孔径 ϕ が $\phi \leq 23\text{mm}$ の場合は電動ドリルを、 $23\text{mm} < \phi < 65\text{mm}$ の場合はコアボーリングを想定しております。 |
| 21 | 設計図 | 13/523頁 258～265/523頁 | 炭素繊維定着体に関して、断面図からタイプ5～12は定着体を施工すると考えられますが、P3～P4橋脚間の350本に、タイプ12の定着体78本が含まれていないと思われます。また、P4～P5橋脚間の274本に、タイプ5とタイプ8の定着体84本が含まれていないと思われます。いかがでしょうか。 | 令和7年7月16日付訂正公告をご確認ください。 |
| 22 | 設計図 | 264/523頁 | 炭素繊維定着体に関して、橋軸方向タイプ12の断面図には、目付200g/m ² 橋軸方向×1層と記載がありますが、橋軸直角方向ではないでしょうか。 | 令和7年7月16日付訂正公告をご確認ください。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | | | |
|----|------------------|--|--|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 | | |
|----|------------------|--|--|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質問事項 | 回答（発注者使用欄） |
|----|-------|---|--|---|
| 23 | 参考図 | (8/57)御麓橋（下り線）工事用道路平面図（参考図） (28/57) 羽尾橋（下り線）工事用道路平面図（参考図） | 御麓橋及び羽尾橋において工事用道路が用地外に位置する箇所がございますが、どのように扱えばよいでしょうか。 | 工事着手前に発注者にて工事用道路の施工に必要な借地を行います。 |
| 24 | 参考図 | (17/57)御麓橋（下り線）工事用道路横断図（参考図）（その5） (19/57) 御麓橋（下り線）工事用道路横断図（参考図）（その7） | 御麓橋の割掛参考図17/57及び19/57の切土区間において工事終了後、原形復旧をするとのことですが、薄く切った斜面に土砂を貼り付けるという認識でよろしいでしょうか。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 25 | 特記仕様書 | P17、15-5-3架空線等上空施設の確認等について | 更埴Cランプ橋と交差部のしなの鉄道線の架空線は、特記仕様書によると条件等に「保護」と記載されていますが、架空線の保護は、本工事の対象外と理解してもよろしいでしょうか。ご教示願います。 | 架空線の保護は本工事の対象外ですが、契約締結後の関係機関協議の結果により本工事に追加する可能性があります。これに要する費用は、別途監督員と協議し定めるものとお考え下さい。 |
| 26 | 特記仕様書 | P.7 7-4 河川内工事における施工時期 犀川橋P17橋脚の「期間」について | 犀川橋P17橋脚の施工期間は「令和8年11月1日～令和9年3月31日」となっております。「令和9年11月1日～令和10年3月31日」の期間に施工できない理由について、ご教示願います。 | 協議等によるものとお考え下さい。 |
| 27 | 特記仕様書 | P.7 7-4 河川内工事における施工時期 犀川橋P17橋脚の「期間」について | 犀川橋P17橋脚の施工期間は「令和8年11月1日～令和9年3月31日」となっております。「令和9年11月1日～令和10年3月31日」の期間に施工できない理由は「河川阻害」でしょうか？ご教示願います。 | 協議等によるものとお考え下さい。 |
| 28 | 特記仕様書 | P.7 7-4 河川内工事における施工時期 犀川橋P17橋脚の「期間」について | 犀川橋P17橋脚の施工期間は「令和8年11月1日～令和9年3月31日」となっております。「令和9年11月1日～令和10年3月31日」の期間に施工できない理由について、ご教示願います。 また設計図書通りの施工が実施できない場合は設計変更の対象になりますか。 | 「令和9年11月1日～令和10年3月31日」の期間に施工できない理由は、協議等によるものとお考え下さい。 また、受注者の責により設計図書通りの施工ができない場合は、設計変更の対象にはならないものとお考え下さい。なお、受注者の責によらず、設計図書通りの施工が実施できない場合は別途監督員と協議して定めるものとお考え下さい。 |
| 29 | 設計図 | P. 227 施工ステップにおける工程 | 犀川橋P17橋脚施工ステップ(参考図)における根拠となる工程表をご提示願います。 | 提示する予定はございません。 |
| 30 | 特記仕様書 | 構造物掘削 普通部 B 1 | 土木工事積算基準の第32編耐震補強工4-2構造物掘削数量において、「1箇所当りの施工土量は100m3程度まで」とされています。100m3を超える御麓橋P3橋脚、羽尾橋P2・P3橋脚はどのように計画されていますか。 ①第32編耐震補強工の構造物掘削 ②第8編構造物掘削の一般規模 ③第8編構造物掘削の小規模（現場処理） ④第8編構造物掘削の小規模（他所流用） | 発注者の積算は、②土木工事積算基準第8編7一般規模機械構造物掘削を想定しております。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 | | | |
|----|------------------|------------------------------------|---|---|
| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質問事項 | 回答（発注者使用欄） |
| 31 | 特記仕様書 | 構造物掘削 普通部 B 1 | 作業内容として、「掘削箇所近傍へのはねつけ、埋戻し、締固め」と記載されていますが、100m ³ を超える場合、運搬費は計上されていますか。また、想定されている運搬距離は何mでしょうか。ご教示願います。 | 運搬費は計上しておりません。 |
| 32 | 特記仕様書 | 構造物掘削 普通部 B 2 | 土木工事積算基準の第32編耐震補強工4-2構造物掘削数量において、1箇所当りの施工土量は100m ³ 程度までとされています。100m ³ を超える御麓橋P2橋脚はどのように計画されていますか。 ①第32編耐震補強工の構造物掘削 ②第8編構造物掘削の一般規模 ③第8編構造物掘削の小規模（現場処理） ④第8編構造物掘削の小規模（他所流用） | 発注者の積算は、②土木工事積算基準第8編7一般規模機械構造物掘削を想定しております。 |
| 33 | 特記仕様書 | 構造物掘削 普通部 B 2 | 作業内容として、「掘削箇所近傍へのはねつけ、敷均し、埋戻し、締固め」と記載されていますが、100m ³ を超える場合、敷均し場所までの運搬費は計上されていますか。また、想定されている運搬距離は何mでしょうか。ご教示願います。 | 運搬費は計上しておりません。 |
| 34 | 特記仕様書 | 構造物掘削 特殊部 A 1 犀川橋 P15橋脚 | 鋼矢板圧入工法は、N値＝525、継手ありの条件となります。硬質地盤クリア工法鋼矢板圧入標準積算資料の継手ありが採用されていますか。ご教示願います。 | 発注者の積算は、硬質地盤クリア工法鋼矢板圧入標準積算資料の継手ありを採用しております。 |
| 35 | 特記仕様書 | 構造物掘削 特殊部 A 1 犀川橋 P16橋脚 | 鋼矢板圧入工法は、N値＝700、継手ありの条件となります。硬質地盤クリア工法鋼矢板圧入標準積算資料では、N値＝600以下となります。施工歩掛は見積採用でしょうか。その場合、施工歩掛を公表して頂けないでしょうか。 | 貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上して下さい。なお、N値＝700の区間は518.000m～519.000mまでを想定しており、それ以外の箇所はN値＝600以下を想定しております。 |
| 36 | 特記仕様書 | 構造物掘削 特殊部 A 1 犀川橋 P16橋脚 | 鋼矢板圧入工法は、N値＝700、継手ありの条件ですが、硬質地盤クリア工法鋼矢板圧入標準積算資料のN値＝600以下を採用していると考えてよろしいでしょうか。 | 貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上して下さい。なお、N値＝700の区間は518.000m～519.000mまでを想定しており、それ以外の箇所はN値＝600以下を想定しております。 |
| 37 | 特記仕様書 | 構造物掘削 特殊部 A1・A2 犀川橋 P15・16・17橋脚 | 橋梁直角方向の施工時、上部工とのクリアランスが障害となります。障害箇所の施工費は設計変更協議の対象と考えてよろしいでしょうか。 | 設計変更協議の対象にはなりません。ただし、現地状況と公告図書との差異などにより、条件変更が生じる場合は設計変更協議の対象になります。 |
| 38 | 特記仕様書 | 構造物掘削 特殊部 A1・A2 犀川橋 P15・16・17橋脚 | 土留材（切梁・腹起し等）設置期間の計画日数をご教示願います。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 39 | 特記仕様書 | 構造物掘削 特殊部 A1・A2 犀川橋 P15・16・17橋脚 | 鋼矢板の引抜きは、油圧引抜き工でしょうか。その場合、使用機械は硬質地盤専用圧入機普通鋼矢板用で計画されていますか。ご教示願います。 | 電動式バイプロハンマによる引抜を想定しております。これについては、後日、参考積算条件書にて明示いたします。なお、本回答により契約上の工法を指定するものではありません。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | | | |
|----|------------------|--|--|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 | | |
|----|------------------|--|--|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質問事項 | 回答（発注者使用欄） |
|----|-------|---|--|---|
| 40 | 参考図 | 犀川橋施工ステップ 図面 217・219・220/523 | 犀川橋の施工ステップP15橋脚「⑥掘削」、P16橋脚「⑥掘削」、P17橋脚「③掘削」土留め後における掘削は、コラムシェルと小型バックホウの組合せで計画されていると考えてよろしいでしょうか。 | 設計図に誤りがございました。 発注者の想定する施工計画は、犀川橋P15～P17橋脚のコラムシェルでの掘削時に、小型バックホウを併用しないものとお考え下さい。なお、本回答により契約上の工法を指定するものではありません。 上記については交付図書を訂正いたします。 |
| 41 | 設計図 | 構造物掘削 特殊部A1・A2 犀川橋 P15・16・17橋脚 図面 43・46・48/523 | 切梁式土留工の掘削について、犀川橋の掘削はどのように計画されていますか。 ①施工基面から5mまではバックホウ（0.6m ³ ） 5m以上はコラムシェル（0.6m ³ ） ②施工基面から全掘削高をコラムシェル（0.6m ³ ） | 設計図に誤りがございました。 発注者の想定する施工計画は、下記の通りとお考え下さい。 ・P15, P16橋脚：施工基面から全掘削高をコラムシェル（0.6m ³ ） ・P17橋脚：土木工事積算基準P8-6のケース2のA範囲～C範囲を想定 なお、本回答により契約上の工法を指定するものではありません。 上記については交付図書を訂正いたします。 |
| 42 | 設計図 | 設計図 御麓橋 図面番号267/523 | 親杭横矢板工法のパイプロハンマ単独施工の標準歩掛は55 tクレーンですが、当該工事は25 tクレーンによる施工となります。損料又は賃料どちらを計画されていますか。ご教示願います。 | 損料を想定しております。 |
| 43 | 特記仕様書 | 構造物掘削 特殊部B 1 御麓橋 P5橋脚 | 土留材（切梁・腹起し等）設置期間の計画日数をご教示願います。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 44 | 特記仕様書 | 構造物掘削 特殊部C | ライナープレートの設置は、土木工事積算基準のライナープレート建込み歩掛、又は見積採用のどちらでしょうか。見積採用の場合、施工費を公表して頂けないでしょうか。 | 発注者の積算では、土木工事積算基準第17編4人力掘削による場所打ちコンクリート杭を想定しております。 |
| 45 | 特記仕様書 | 構造物掘削 特殊部C | ライナープレートの撤去は、土木工事積算基準に基準が見当たりません。見積採用の場合、施工費を公表して頂けないでしょうか。撤去 | 発注者の積算では、国土交通省（下水道用設計表標準歩掛）の準用を想定しております。 |
| 46 | 金抜設計書 | 鉄筋T | フレア溶接D 2 5までの単価は公表されていますが、フレア溶接D 2 9の施工単価をご教示願います。 | 発注者の積算では、市場単価を想定しております。 |
| 47 | 設計図 | 鉄筋T 取付アンカー 御麓橋・羽尾橋 | 取付アンカーの削孔方法をご教示願います。 ①電動ドリル ②コアボーリング | 発注者の施工計画は、削孔径φがφ≦23mmの場合は電動ドリルを、23mm<φ<65mmの場合はコアボーリングを想定しております。 |
| 48 | 特記仕様書 | 24-7落橋防止構造 24-9横変位拘束構造 24-22水平分担構造 24-23上部工補強工 | 上部工に設置する「鋼部材の工場製作」について、どのように計画されていますか。 ①土木工事積算基準 大型部材の製作 ②土木工事積算基準 小型部材の製作 ③土木工事積算基準 一般鉄骨構造の製作 ④上記以外（採用基準をご教示願います） | 発注者の積算は、④土木工事積算基準第31編3-4-2縁端拡幅工Mの製作費（鋼上部工工事以外）を想定しております。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | | | |
|----|------------------|--|--|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 | | |
|----|------------------|--|--|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質 問 事 項 | 回答（発注者使用欄） |
|----|-------|---|--|--|
| 49 | 特記仕様書 | 24-7落橋防止構造 24-9横変位拘束構造 24-22水平分担構造 | 下部工に設置する「鋼部材の工場製作」について、どのように計画されていますか。 ①土木工事積算基準 大型部材の製作 ②土木工事積算基準 小型部材の製作 ③土木工事積算基準 一般鉄骨構造の製作 ④土木工事積算基準 縁端拡幅工Mの製作費 ⑤上記以外（採用基準をご教示願います） | 発注者の積算は、④土木工事積算基準第31編3-4-2縁端拡幅工Mの製作費（鋼上部工工事以外）を想定しております。 |
| 50 | 特記仕様書 | 24-7落橋防止構造 24-9横変位拘束構造 24-22水平分担構造 24-23上部工補強工 | 「鋼部材の工場製作」について、一般鉄骨構造の製作の場合、「構造の難易による割増率」について想定される割増率をご教示願います。 | 発注者の積算は、④土木工事積算基準第31編3-4-2縁端拡幅工Mの製作費（鋼上部工工事以外）を想定しております。 |
| 51 | 特記仕様書 | 24-7落橋防止構造 24-9横変位拘束構造 24-22水平分担構造 24-23上部工補強工 | 高力ボルト接合部の現場孔明工について、当該工事は施工する橋梁場所が離れております。孔明工の総数量はどのように計画されていますか。 ①1発注工事の総数量で積算 ②各橋梁毎の総数量で積算 ③各橋脚毎の総数量で積算 | 発注者の積算は、①1発注工事の総数量を想定しております。 |
| 52 | 特記仕様書 | 24-7落橋防止構造 24-9横変位拘束構造 24-22水平分担構造 24-23上部工補強工 | 高力ボルト本締作業について、当該工事は施工する橋梁場所が離れております。高力ボルト本締めの総数量はどのように計画されていますか。 ①1発注工事の総数量で積算 ②各橋梁毎の総数量で積算 ③各橋脚毎の総数量で積算 | 発注者の積算は、①1発注工事の総数量を想定しております。 |
| 53 | 設計図 | 落橋防止構造 段差防止構造M 横変位拘束構造 | 溶融亜鉛メッキ付着量、鋼材＝HDZT77と記載されていますが、市販単価を採用していますか。ご教示願います。 | 発注者の積算は、土木工事等単価ファイルの採用を想定しております。 |
| 54 | 設計図 | 水平分担構造 図面 196/523 | 下部工ブラケットの防錆について記載がありません。溶融亜鉛メッキ付着量、鋼材＝HDZT77と考えてよろしいでしょうか。 | 特記仕様書24-22-5に記載の通り、溶融亜鉛めっき（JIS H 8641（溶融亜鉛めっき）HDZT77）とお考え下さい。 |
| 55 | 特記仕様書 | 24-7落橋防止構造 24-9横変位拘束構造 24-22水平分担構造 | 鋼製ブラケットの不陸調整用樹脂パテの施工は、「橋梁架設工事の積算」落橋防止システム工の基準と考えてよろしいでしょうか。 | 発注者の積算は、土木工事積算基準第31編3-8(8)落橋防止装置取付工のブラケット背面注入を準用することを想定しております。 |
| 56 | 特記仕様書 | 24-7落橋防止構造 24-9横変位拘束構造 24-22水平分担構造 | 鋼製ブラケットの不陸調整用樹脂パテの材料について、ロス率は見込まれていますか。見込まれている場合、ロス率をご教示願います。 | 発注者の積算は、土木工事積算基準第31編3-8(8)落橋防止装置取付工のブラケット背面注入を準用することを想定しております。 |
| 57 | 特記仕様書 | 24-7-2落橋防止構造 現場塗装 | 現場塗装の内容として、既設塗膜との境界部の処理（4種ケレン）と記載が有ります。4種ケレン数量には特記仕様書24-7-4施工3）塗装に記載されている境界部塗装が含まれると考えてよろしいでしょうか。 | そのとおりとお考え下さい。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | | | | |
|----|------------------|--|--|--|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 | | | |
|----|------------------|--|--|--|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質 問 事 項 | 回答（発注者使用欄） |
|----|-------|--------------------------------------|---|--|
| 58 | 金抜設計書 | 134 耐震補強用鋼板の製作 | 特記仕様書24-11耐震補強用鋼板の架設にピアーフレ工法との記載があります。耐震補強用鋼板の製作はどのように計画されていますか。 ①NEXCO土木工事積算基準 ②柱状体圧入工法協会 ピアーフレ工法基準 | 発注者の積算は、②柱状体圧入工法協会ピアーフレ工法基準を想定しております。 |
| 59 | 金抜設計書 | 135 耐震補強用鋼板の輸送 | 輸送は長野県庁から現場までの運搬距離でしょうか。計画している運搬距離をご教示願います。 | そのとおりとお考え下さい。 |
| 60 | 特記仕様書 | 24-11耐震補強用鋼板の架設 | 耐震補強鋼板の架設A（地上部）施工はどのように計画されていますか。 ①NEXCO土木工事積算基準 ②柱状体圧入工法協会 ピアーフレ工法基準 | 発注者の積算は、①土木工事積算基準第32編9-3耐震補強用鋼板の架設を想定しております。 |
| 61 | 金抜設計書 | 140 耐震補強用充填工 | 耐震補強用充填工について、土木工事積算基準の耐震補強用モルタル充填工では厚さ30mmを標準とされています。今回は厚さ150mmの計画となりますが、どのように計画されていますか。 ①NEXCO土木工事積算基準 耐震補強用モルタル充填工を準用 ②柱状体圧入工法協会 ピアーフレ工法基準 ③上記以外（採用の基準書ご教示願います） | 発注者の積算は、①土木工事積算基準第32編9-8耐震補強用モルタル注工を準用することを想定しております。 |
| 62 | 設計図 | 設計図 更埴Eランプ 橋 図面番号377・379/523 | ピアーフレ工法に必要な圧入装置、主要機械設備は、見積採用でしょうか。採用される単価は公表されると考えてよろしいでしょうか。 | 発注者の積算は、以下を想定しております。 ・圧入装置：柱状体圧入補強協会ピアーフレ工法標準積算資料 ・主要機械設備：建設機械等損料表 なお、単価は公表致しません。 |
| 63 | 金抜設計書 | 炭素繊維巻立て下地処理工 | 炭素繊維巻立て下地処理工には、電動工具による表面処理は含まれますか。ご教示願います。 | 含まれるものとお考え下さい。 |
| 64 | 特記仕様書 | 24-15炭素繊維巻立工 | 市場単価（土木工事標準単価）の連続繊維シート本体貼付（標準単価）で計画されていると考えてよろしいでしょう。 | 発注者の積算は、土木工事積算基準第32編10-2炭素繊維巻立工を想定しております。 |
| 65 | 特記仕様書 | 24-15炭素繊維巻立工 | 市場単価（土木工事標準単価）の連続繊維シート本体貼付（標準単価）における4周8休補正係数をご教示願います。 | 発注者の積算は、土木工事積算基準第32編10-2炭素繊維巻立工を想定しております。 |
| 66 | 特記仕様書 | 24-16構造物補修工 24-16-1事前調査 | 事前調査の費用は、断面修復工A1-1の単価項目に計上されますか。ご教示願います。 | そのとおりとお考え下さい。 |
| 67 | 特記仕様書 | 24-16構造物補修工 24-16-1事前調査 | 事前調査の費用は、土木工事積算基準第31編5-3事前処理工で計画されていますか。異なる場合、対象のなる基準書をご教示願います。 | 貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上して下さい。 |
| 68 | 特記仕様書 | 24-16-2断面修復工 | 計画されている断面修復工に使用する材料ロス率をご教示願います。 | 貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上して下さい。 |
| 69 | 参考図 | 設計図 更埴JCT-Cランプ 橋 図面番号 511・512/523 | 運搬経路図による鋼部材の運搬費は、どのように計画されていますか。 ①各単価項目に計上 ②諸経費①に含む | ①各単価項目に計上するものとお考え下さい。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | |
|----|------------------|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 |
|----|------------------|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質問事項 | 回答（発注者使用欄） |
|----|-------|--|--|---|
| 70 | 金抜設計書 | 177上部工補強A3 更埴ジャンプ橋 A2橋台 図面 357/523 | 上部工補強工A3のフィラープレート取付詳細図について、現場溶接の費用は含まれていますか。ご教示願います。 | 含まれるものとお考え下さい。 |
| 71 | 金抜設計書 | 178上部工補強A4 更埴JCT-Cジャンプ橋 図面 495・464/523 | 上部工補強工A4のフィラープレート取付詳細図について、現場溶接の費用は含まれていますか。ご教示願います。 | 含まれるものとお考え下さい。 |
| 72 | 金抜設計書 | 178上部工補強C2 更埴JCT-Cジャンプ橋 図面 485/523 | 上部工補強工C2のフィラープレート取付詳細図について、現場溶接の費用は含まれていますか。ご教示願います。 | 含まれるものとお考え下さい。 |
| 73 | 特記仕様書 | 24-24無収縮モルタル工 | 無収縮モルタル工の施工費はどのように計画されていますか。 ①NEXCO土木工事積算基準 耐震補強用モルタル充填工を準用 ②橋梁架設工事の積算 ③上記以外（採用基準をご教示願います） | 発注者の積算は、①土木工事積算基準第32編9-8耐震補強用モルタル注工を準用することを想定しております。 |
| 74 | 特記仕様書 | 24-26-2上沓ストッパー切断 | 上沓ストッパー切断の施工について、橋梁架設工事の桁補強工（極小規模補修工事ガス切断切削仕上げ工）で計画されていますか。ご教示願います。 | 発注者の積算は、橋梁架設工事の積算4.5.2(5)補修工事ガス切断仕上げ工（極小規模補修工事ガス切断切削仕上げ工）を想定しております。 |
| 75 | 特記仕様書 | 24-27-2桁端部切断 | 既設主桁の鋼板の一部切断撤去について、犀川橋の各橋脚におけるガス切断延長数量をご教示願います。 | 設計図208/523～211/523に切断数量を記載しております。 |
| 76 | 特記仕様書 | 24-27-2桁端部切断 24-27-4防せい | 現場塗装について、特殊部F 3の各面積をご教示願います。 | 設計図98/523の塗分け区分図から数量を算出してください。 |
| 77 | 特記仕様書 | 24-27-2桁端部切断 24-27-4防せい | 現場塗装について、特殊部F 4の各面積をご教示願います。 | 特殊部F4の面積はございません。 |
| 78 | 特記仕様書 | 24-27-2桁端部切断 24-27-4防せい | 現場塗装について、境界部塗装の各面積をご教示願います。 | 設計図98/523の塗分け区分図から数量を算出してください。 |
| 79 | 特記仕様書 | 24-28-3仮締切工 5-2-1自工区外盛土場 | 大型土のうの撤去、自工区外盛土場へ運搬について、どのような計画でしょうか。 ①大型土のう袋のまま運搬 ②中詰め土のみ運搬 | 特記仕様書5-2-1に基づき、大型土のう袋のまま運搬することを想定しております。 |
| 80 | 特記仕様書 | 24-29上部工炭素繊維補強工 炭素繊維下地処理工 | 炭素繊維下地処理工には、電動工具による表面処理は含まれますか。ご教示願います。 | 含まれるものとお考え下さい。 |
| 81 | 特記仕様書 | 24-29上部工炭素繊維補強工 A 1～B 6 | 市場単価（土木工事標準単価）の連続繊維シート本体貼付（標準単価）で計画されていると考えてよろしいでしょうか。 | 発注者の積算は、橋梁架設工事の積算4.13.3(5)炭素繊維シート接着工の準用及び市場単価の準用を想定しております。 |
| 82 | 特記仕様書 | 24-29上部工炭素繊維補強工 A 1～B 6 | 市場単価（土木工事標準単価）の連続繊維シート本体貼付（標準単価）における4周8休補正係数をご教示願います。 | 市場単価における4週8休補正係数は国土交通省の補正係数に準じるものとお考え下さい。 |
| 83 | 特記仕様書 | 24-29上部工炭素繊維補強工 表面仕上げA | 土木工事積算基準の第32編10-3炭素繊維炊立表面仕上工について、上向き施工による補正係数が有りましたらご教示願います。 | 土木工事積算基準第32編10-3炭素繊維巻立表面仕上工の補正係数はございません。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | | | |
|----|------------------|--|--|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 | | |
|----|------------------|--|--|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質問事項 | 回答（発注者使用欄） |
|----|-------|-----------------------------------|---|--|
| 84 | 特記仕様書 | 24-30-2エアモルタル充填工 | エアモルタル充填工について、どのような計画でしょうか。 ①土木工事積算基準 FCB工法を準用 ②見積採用 ③上記以外（採用基準をご教示願います） | 発注者の積算は、土木工事積算基準第34編第2章4FCB工を準用することを想定しております。 |
| 85 | 設計図 | 中間貫通工 羽尾橋 P2橋脚 図面番号 296/523 | 中間貫通鋼材質量表の定着形鋼について、長さ26.4mが4本と記載されていますが、定着形鋼は単価番号210 中間貫通鋼材工B（見積対象）に全て計上されてていますか。ご教示願います。 | 中間貫通鋼材工Aと中間貫通鋼材工Bのそれぞれに定着形鋼を計上しております。 |
| 86 | 特記仕様書 | 24-35横変位拘束構造RC7°ロック コンクリート | 吊下げ型緩衝材の製造について、見積採用でしょうか。材料単価は公表されますか。ご教示願います。 | 個別に調査を行った価格の適用を想定しています。材料単価は公表いたしません。 |
| 87 | 特記仕様書 | 24-35横変位拘束構造RC7°ロック コンクリート | 吊下げ型緩衝材の設置について、対象となる基準書をご教示願います。 | 個別に調査を行った価格の適用を想定しています。 |
| 88 | 金抜設計書 | 鉄道保安要員 列車見張員A | 列車見張員Aは、公共工事設計労務単価に含まれていません。見積採用の場合、労務単価の公表はされると考えてよろしいでしょうか。 | 個別に調査を行った価格の適用を想定しています。労務単価は公表いたしません。 |
| 89 | 金抜設計書 | 鉄道保安要員 停電作業車A（夜2） | 停電作業車A（夜2）は、公共工事設計労務単価に含まれていません。見積採用の場合、労務単価の公表はされると考えてよろしいでしょうか。 | 個別に調査を行った価格の適用を想定しています。労務単価は公表いたしません。 |
| 90 | 割掛対象表 | 現場溶接部検査費C | 更埴Eランプ 橋と記載されていますが、図面485/523更埴JCT-Cランプ 橋が対象ではないでしょうか。 | 割掛け参考内訳書に誤りがございました。 割掛対象表を正としてお考え下さい。 上記については交付図書を訂正いたします。 |
| 91 | 割掛対象表 | 鉄筋位置調査費 I | 割掛対象表の対象に中間貫通鋼材工A・Bが指定されています。中間貫通鋼材工Bは見積対象となります。鉄筋位置調査 I は全て見積対象でしょうか。ご教示願います | 鉄筋位置調査Iについてはすべて見積対象とお考え下さい。 |
| 92 | 割掛対象表 | 剥離剤用養生設備工費 | 剥離剤用養生設備工費の基準は、どのような計画でしょうか。 ①土木工事積算基準 ②橋梁架設工事の積算 ③上記以外（基準をご教示願います） | 発注者の積算は、①土木工事積算基準第34編第21章4剥離剤用養生設備工を想定しております。 |
| 93 | 割掛対象表 | 塗膜成分調査 | 塗膜成分調査について、積算基準が見当たりません、見積採用でしょうか。 ①見積採用の場合単価公表されますか。 ②基準書の場合、基準をご教示願います。 | 個別に調査を行った価格の適用を想定しています。材料単価は公表いたしません。 |
| 94 | 割掛対象表 | 足場工費 B | 御麓橋P2・P3橋脚の単位が掛m2です。橋梁架設工事の積算4-17ページ 枠組足場タイプGで計画されていると考えてよろしいでしょうか。 | そのとおりとお考え下さい。 |
| 95 | 割掛対象表 | 足場工費 B | 御麓橋P3橋脚の単位が空m3です。土木工事積算基準の橋梁下部工補修足場で計画されていると考えてよろしいでしょうか。 | そのとおりとお考え下さい。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | |
|----|------------------|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 |
|----|------------------|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質 問 事 項 | 回答（発注者使用欄） |
|-----|-------|--|--|---|
| 96 | 割掛対象表 | 足場工費 E（夜 2） | F R P 製品の足場材に係る費用は、見積採用でしょうか。見積単価は公表されますか。ご教示願います。 | 個別に調査を行った価格の適用を想定しています。材料単価は公表いたしません。 |
| 97 | 割掛対象表 | 吊足場工費（防護型側面） E（夜 2） | F R P 製品の足場材に係る費用は、見積採用でしょうか。見積単価は公表されますか。ご教示願います。 | 個別に調査を行った価格の適用を想定しています。材料単価は公表いたしません。 |
| 98 | 割掛対象表 | 昇降設備 | 工事用エレベータの電力は発電機で計画されていますか。ご教示願います | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 99 | 割掛対象表 | 昇降設備 | 工事用エレベータに使用する発電機の設備容量は規格は何 K V A で計画されていますか。ご教示願います | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 100 | 割掛対象表 | はく落防止ネット撤去設置費 | はく落防止ネット撤去設置の施工費は、見積採用でしょうか。見積単価は公表されますか。ご教示願います。 | 個別に調査を行った価格の適用を想定しています。材料単価は公表いたしません。 |
| 101 | 割掛対象表 | はく落防止ネット撤去設置費 | 羽尾橋P2-P3橋脚間の施工（撤去・設置）は、吊足場を利用する計画と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 102 | 割掛対象表 | はく落防止ネット撤去設置費 | 窪河原橋A2橋台の施工（撤去・設置）は、足場工費 G の固定足場を利用する計画と考えてよろしいでしょうか。また、撤去したはく落防止ネットは作業場所内に仮置きでしょうか。ご教示願います。 | 窪河原橋A2橋台の施工（撤去・設置）は、貴社の施工計画に基づきお考え下さい。撤去したはく落防止ネットの扱いについては、貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 103 | 設計図 | 構造物掘削 特殊部 A 1 犀川橋 P15・P16橋脚 図面 42～47/523 | 既設上部工の直下に圧入する場合、桁下の空頭制限により標準のクレーンは使用できません。オーガハンドリングシステム、小型クローラクレーンを併用する計画でしょうか。使用する場合、費用は見積採用でしょうか。ご教示願います。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 104 | 設計図 | 構造物掘削 特殊部 A 2 犀川橋 P17橋脚 図面 48・49/523 | 既設上部工の直下に圧入する場合、桁下の空頭制限により標準のクレーンは使用できません。オーガハンドリングシステム、小型クローラクレーンを併用する計画でしょうか。使用する場合、費用は見積採用でしょうか。ご教示願います。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 105 | 設計図 | 構造物掘削 特殊部 A 1 犀川橋 P15橋脚 図面 42・43・44/523 | 鋼矢板圧入工法は、N 値＝525、継手2箇所/枚です。硬質地盤クリア工法標準積算資料では、N 値600以下鋼矢板Ⅲ型の圧入長15m以下は2枚/日とされていますが、犀川橋P15橋脚の1日当りの平均施工枚数をご教示願います。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 106 | 設計図 | 構造物掘削 特殊部 A 1 犀川橋 P16橋脚 図面 45・46・47/523 | 鋼矢板圧入工法は、N 値＝700、継手2箇所/枚です。硬質地盤クリア工法標準積算資料では、N 値600以下鋼矢板Ⅲ型の圧入長15m以下は2枚/日とされていますが、犀川橋P16橋脚の1日当りの平均施工枚数をご教示願います。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | | | |
|----|------------------|--|--|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 | | |
|----|------------------|--|--|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質問事項 | 回答（発注者使用欄） |
|-----|-------|--|--|--|
| 107 | 設計図 | 構造物掘削 特殊部 A 2 犀川橋 P17橋脚 図面 48・49/523 | 鋼矢板圧入工法は、N値＝350、継手6箇所/枚です。硬質地盤クリア工法標準積算資料では、N値375以下鋼矢板Ⅳ型の圧入長19m以下は1.8枚/日とされていますが、犀川橋P17橋脚（昼夜施工）の1日当りの平均施工枚数をご教示願います。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 108 | 参考図 | 構造物掘削 特殊部 A 1 犀川橋施工ステップ 図面 216・218/523 | 犀川橋P15、P16橋脚③仮締切り設置の鋼矢板圧入工法は、圧入機2基を使用して施工する計画でしょうか。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 109 | 参考図 | 構造物掘削 特殊部 A 2 犀川橋施工ステップ 図面 220/523 | 犀川橋P17橋脚②仮締切り設置の鋼矢板圧入工法は、圧入機2基を使用して施工する計画でしょうか。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 110 | 参考図 | 構造物掘削 特殊部 A 2 犀川橋施工ステップ 図面 220/523 | 犀川橋P17橋脚は、1非出水期（5ヶ月）での施工ステップですが、計画されている下記の各施工日数（昼夜施工）をご教示願います。 ②仮締切り設置 ③掘削 ④炭素繊維巻立て、落橋防止構造 ⑤引抜き工 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 111 | 設計図 | 犀川橋P15・P16・P17橋脚 図面 42～49/523 | 鋼矢板による仮締切りについて、硬質地盤クリア候補標準積算資料「1.適用範囲」にコーナー施工がある場合は、反力用の鋼矢板を各コーナーで1枚ずつ計上するとされていますが、反力用鋼矢板は施工数量とは別に計上されていますか。ご教示願います。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 112 | 金抜設計書 | 全般 | NEXCOホームページに公表されている令和7年10月改定の土木工事等単価について、入札公告が令和7年6月以前と7月以降の2種類があります。 令和7年6月以前の単価を採用し、令和7年6月以前に未記載の単価は、令和7年7月以降の単価を採用すると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。 | 令和7年6月以前に入札公告を行った場合の土木工事単価ファイルの使用を想定しております。なお、当該単価ファイルに記載のない単価については、貴社にて必要な費用を計上して下さい。 |
| 113 | 金抜設計書 | 捨土掘削 | 今回の工事の土工の数量は、この工種のみであり、50,000m3未満であるため、小規模土工ととらえて良いでしょうか。 ご教示願います。 | 発注者の積算は、土木工事積算基準第7編20特小規模工事を想定しております。 |
| 114 | 特記仕様書 | P26 捨土掘削 | 特記の区分には「3）土砂の敷均し、盛土整形」とありますが、敷均しのほかに、盛土の整形費用が計上されているのでしょうか。 ご教示願います。 | 特記仕様書に誤りがございました。 正しくは「3）土砂の敷均し」とお考え下さい。 上記については交付図書を訂正いたします。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | | | | |
|----|------------------|--|--|--|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 | | | |
|----|------------------|--|--|--|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質 問 事 項 | 回答（発注者使用欄） |
|-----|-------|---------------------|---|---|
| 115 | 特記仕様書 | P26 捨土掘削 | 閲覧資料「犀川橋上り線補強数量計算書」「犀川橋下り線補強数量計算書」の各橋脚の数量集計表には、土工の欄に、バックホウ0.2m ³ 、とあります。この機械を想定の上で積算されているのでしょうか。ご教示願います。 | 閲覧資料に関する質問についてはお答えできません。公告図書を正としてお考え下さい。 |
| 116 | 特記仕様書 | P30 構造物掘削 特殊部 A1・A2 | 全国圧入協会「硬質地盤クリア工法」を準用する場合、機械運賃・機械損料は、この積算資料に掲載の単価を計上するのでしょうか。それともR7年度機損表の単価を計上するのでしょうか。 ①機損表の場合、協会資料P22の硬質地盤専用圧入機、P23のオガ部材損料は、それぞれの単価はいくらになるのでしょうか。 ②協会資料・R7機損表いずれの場合も、何欄を使用するのでしょうか。 それぞれ、ご教示願います。 | 貴社の施工計画にて必要な費用を計上ください。 |
| 117 | 特記仕様書 | P30 構造物掘削 特殊部 A1・A2 | 全国圧入協会「硬質地盤クリア工法」を準用する場合、積算資料P11 5-7.厚補正係数を知り得る資料が見当たりません。数値をご教示願います。 | 設計図に誤りがございました。厚補正係数の算出に必要な地盤条件を明示いたします。上記については交付図書を訂正いたします。 |
| 118 | 設計図 | 窪河原橋 387/523 | 構造物掘削 特殊部C1 に用いる材料表がありますが、ライナープレートと補強リングの他の部材(組立ボルト・継手板・継手ボルト・ロックワッシャー)は、公表いただける単価とは別に、計上が必要でしょうか。ご教示願います。 | ライナープレート及び補強リングの公表価格は、「組立ボルト」「継手板」「継手ボルト」「ロックワッシャー」を含んだ材料費です。 |
| 119 | 特記仕様書 | P29 構造物掘削 特殊部 C2 | P29に「土砂仮置き場から埋戻し部への運搬、埋戻し、締固め」と記載があります。閲覧資料「窪河原橋数量計算書」P10には「埋戻しB」とあります。埋戻しBですと締固めは不要になりますが、締固めの有無はどちらが正でしょうか。有の場合、掘削土の処理方法は、埋戻しA1・A2のどちらでしょうか。ご教示願います。 | 閲覧資料に関する質問についてはお答えできません。公告図書を正としてお考え下さい。 |
| 120 | 特記仕様書 | P31 構造物用コンクリート | 巻立てコンクリートの天端の新旧コンクリートとの境界に施工するシール材、の記載がありますが、歩掛の準用基準は何を想定されているのでしょうか。また、1m当りのロス率を考慮して計上すればよいのでしょうか。ご教示願います。 | 発注者の積算は、土木工事積算基準第32編9-6樹脂シール工を準用することを想定しております。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | | | | |
|----|------------------|--|--|--|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 | | | |
|----|------------------|--|--|--|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質 問 事 項 | 回答（発注者使用欄） |
|-----|-------|----------------|---|--|
| 121 | 特記仕様書 | P33 PIM-a(b) | 作業内容に3)鋼製ブラケットの製作、とあります。準用基準はどれを想定されているのでしょうか。 ①基準書P31-34「縁端拡幅工Mの製作費」 ②基準書P15-15「一般鉄骨構造の製作」 ③それ以外 ②の場合は、構造の複雑性と多様性は「構造が単純で同型のものが多い」で良いか、③の場合は具体的な内容を、それぞれご教示願います。 | 発注者の積算は、①土木工事積算基準第31編3-4-2縁端拡幅工Mの製作費（鋼上部工工事以外）を想定しております。 |
| 122 | 特記仕様書 | P33～35 落橋防止構造 | 作業内容に「ブラケットの輸送」とあります。本工事で製作する鋼構造物の運搬の、積算上の運搬拠点は、下記のうちいずれでしょうか。 ①基準書15編5-1に記載の「最寄りの橋梁製作工場が所在する市町村村役場」 犀川橋＝安曇野市、更埴JCT(C・Eランプ 橋)＝千曲市で良いでしょうか。 ②基準書32編 耐震補強工9-2 に記載の都道府県庁所在地。 長野県は表にないので、何県になるのでしょうか。 ③その他 ③の場合は詳細も交えて、ご教示願います。 | 発注者の積算は、土木工事積算基準第32編9-2鋼板の輸送を想定しております。 |
| 123 | 特記仕様書 | P33～P34 落橋防止構造 | P1M-a(b)、P1C-a(b)、P2-a(b)にて、作業内容に「落橋防止構造の輸送」と記載があります。 ①公表予定の単価には、輸送費は含まれているのでしょうか。 ②含まれていない場合、輸送の歩掛は基準書P15-27「鋼構造物の輸送」でしょうか。そうでない場合の準用基準は何を想定されているのでしょうか。 ご教示願います。 | 公表予定の単価には、輸送費は含まれているものとお考え下さい。 |
| 124 | 特記仕様書 | P33～P34 落橋防止構造 | P1M-a(b)、鋼製ブラケットA・B1・B2・B3・Cにて、作業内容に「アンカーボルトの輸送」と記載があります。 ①公表予定の単価には、輸送費は含まれているのでしょうか。 ②含まれていない場合、輸送の歩掛は基準書P15-27「鋼構造物の輸送」でしょうか。そうでない場合の準用基準は何を想定されているのでしょうか。 ご教示願います。 | 公表予定の単価には、輸送費は含まれているものとお考え下さい。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | | | | |
|----|------------------|--|--|--|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 | | | |
|----|------------------|--|--|--|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質問事項 | 回答（発注者使用欄） |
|-----|-------|---------------------------------------|---|---|
| 125 | 特記仕様書 | P33～P34 落橋防止構造 | P1M-a(b)、P1C-a(b)、P2-a(b)にて、作業内容に「落橋防止構造の防せい」とあります。 ①公表予定の単価には、防せい費(HDZT77)は含まれているのでしょうか。 ②含まれている場合は、防せいは工場塗装を指しているのでしょうか。 ご教示願います。 | 公表予定の単価には、防せい費(HDZT77)は含まれているものとお考え下さい。 |
| 126 | 設計図 | 6/523 数量総括表(5) 落橋防止構造 | P1M-1457(250)の数量2は、更埴JCT-Cランプ橋P3橋脚終点側となっています。 特記仕様書P33のP1M-a(b)の備考欄には、更埴JCT-Cランプ橋P3橋脚(起点側)とあります。 数量総括表通りだと、P1C-a(b)と作業内容が重複します。 正しくは特記の通り、P1M-a(b)にP3起点側、P1C-a(b)にP3終点側ではないでしょうか。 ご教示願います。 | 設計図に誤りがございました 正しくは、P1M-1457(250)の数量2本は更埴JCT-Cランプ橋P3橋脚(起点側)になります。 上記については交付図書を訂正いたします。 |
| 127 | 設計図 | 137/523 落橋防止構造 鋼製ブラケットB1(下部工ブラケット)詳細図 | コンクリート面へのブラケット設置に際して、シール材詳細図が記載されています。閲覧資料ですと、数量はmとなっています。シール材の計上について想定されている準用基準は下記のうちいずれでしょうか。 ①橋梁仮設工事の積算R7 P4-80「注入工(シール含む)」にて、不陸調整用樹脂パテ施工と共に、シール材をkgに換算して計上。 ②NEXCO P32-17「樹脂シール工」にてmで計上。 ③その他。 その他の場合は具体的な計上方法とともに、ご教示願います。 | 発注者の積算は、③土木工事積算基準第31編3-8(8)落橋防止装置取付工のブラケット背面注入材を準用すること想定しております。 |
| 128 | 特記仕様書 | P33・36・40・41 | アンカーの削孔に伴い発生するコンクリート殻の処分についてですが、運搬に使用するトラックは2tトラックと10tトラックの、どちらを想定されているのでしょうか。 ご教示願います。 | 発注者の施工計画は、土木工事積算基準第6編8-8取壊し発生材運搬に基づく車両を想定しております。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | | | | |
|----|------------------|--|--|--|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 | | | |
|----|------------------|--|--|--|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質 問 事 項 | 回答（発注者使用欄） |
|-----|-------|--|--|---|
| 129 | 特記仕様書 | P1 施工内容 | <p>施工内容には、鋼材製作を伴う工種が多数含まれています。</p> <p>このうち、橋梁保全工の「縁端拡幅工Mの製作費」、鋼構造物工の「一般鉄骨構造の製作」、「耐震用補強用鋼板の製作」歩掛を適用するケースがあります。</p> <p>この時、歩掛の入力条件にある「対象工事の鋼材全質量」は、以下のどれに該当するでしょうか。</p> <p>①「縁端拡幅工Mの製作費」の歩掛では、その歩掛内で計上した鋼材の全質量</p> <p>②「一般鉄骨構造の製作」の歩掛では、その歩掛内で計上した鋼材の全質量</p> <p>③「耐震用補強用鋼板の製作」の歩掛では、その歩掛内で計上した鋼材の全質量</p> <p>④「縁端拡幅工Mの製作費」「一般鉄骨構造の製作」「耐震用補強用鋼板の製作」の全ての歩掛において、全ての歩掛で計上した鋼材の全質量</p> <p>④その他</p> <p>④の場合は具体的な説明とともに、ご教示願います。</p> | <p>発注者の積算は、④「縁端拡幅工Mの製作費」「一般鉄骨構造の製作」「耐震用補強用鋼板の製作」の全ての歩掛において、全ての歩掛で計上した鋼材の全質量を想定しております。</p> |
| 130 | 金抜設計書 | 番号 7 項目番号 2-(6) 項目 構造物掘削特殊部A1 | 鋼矢板の圧入工法について「硬質地盤専用圧入機による圧入」と考えてよろしいでしょうか。ご教示下さい | 硬質地盤クリア工法による打込みを想定しております。これについては、後日、参考積算条件書にて明示いたします。なお、本回答により契約上の工法を指定するものではありません。 |
| 131 | 金抜設計書 | 番号 7 項目番号 2-(6) 項目 構造物掘削特殊部A1 | P16橋脚における鋼矢板施工について、想定最大N値が700となっております。施工方法についてご教示ください。 | 硬質地盤クリア工法による打込み、電動式バイプロハンマによる引抜を想定しております。これについては、後日、参考積算条件書にて明示いたします。なお、本回答により契約上の工法を指定するものではありません。 |
| 132 | 金抜設計書 | 番号 7 項目番号 2-(6) 項目 構造物掘削特殊部A1 | P16橋脚における鋼矢板施工について、想定最大N値が700となっております。施工方法についてご教示ください。 | 硬質地盤クリア工法による打込み、電動式バイプロハンマによる引抜を想定しております。これについては、後日、参考積算条件書にて明示いたします。なお、本回答により契約上の工法を指定するものではありません。 |
| 133 | 金抜設計書 | 番号 7 項目番号 2-(6) 項目 構造物掘削特殊部A2 | 昼夜施工とありますが、昼夜施工を必要とする施工について、ご教示下さい。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。なお、発注者が想定している昼夜施工を必要とする作業は、特記仕様書24-4-1に示す区分の通りです。 |
| 134 | 金抜設計書 | 番号 11～12 項目番号 2-(6) 項目 構造物掘削特殊部C2～C3 | ライナープレート(φ7.0m)の単価出典元及び設置歩掛準拠図書についてご教示下さい。 | 発注者の積算では、土木工事積算基準第17編4人力掘削による場所打ちコンクリート杭を想定しております。 |
| 135 | 金抜設計書 | 番号 11～12 項目番号 2-(6) 項目 構造物掘削特殊部C4 | ライナープレート(φ7.5m)の単価出典元及び設置歩掛準拠図書についてご教示下さい。 | 発注者の積算では、土木工事積算基準第17編4人力掘削による場所打ちコンクリート杭を想定しております。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | | | |
|----|------------------|--|--|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 | | |
|----|------------------|--|--|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質問事項 | 回答（発注者使用欄） |
|-----|-------|---|---|---|
| 136 | 金抜設計書 | 番号 14 項目番号 2-(6) 項目 構造物掘削特殊部C5 | 夜間の労務単価の算出方法についてご教示下さい。 | 発注者の積算は、土木工事積算基準第4編労務費に基づき算出することを想定しております。 |
| 137 | 金抜設計書 | 番号 15番 項目番号 8-(1) 項目 コンクリートA1-3 | コンクリートA1-3の対象となる構造物とコンクリートの配合等ご教示下さい。 | 羽尾橋下り線P1橋脚の「沓隠し」の復旧にコンクリートA1-3を使用します。配合はコンクリート施工管理要領に記載のとおりです。 |
| 138 | 金抜設計書 | 番号 16 項目番号 8-(1) コンクリート 項目 A1-5 | 土木工事積算基準 令和6年度版 32-8頁 5. コンクリート 5-2コンクリート打設量による打設規模区分の5区分が記載されていますが、設計成果品の各橋梁における各橋脚の数量計算書では打設規模区分が積算基準書の13-6頁の6区分で区分されており歩掛に差異が生じます、打設規模区分についてご教示ください。 | 土木工事積算基準第32編5コンクリート工に基づきお考え下さい。 |
| 139 | 特記仕様書 | 番号 101 項目番号 17-(11) 項目 鋼製ブラケットC(夜2) | 緩衝材(クローブレンゴム)の製作ならびに設置の参考歩掛についてご教示ください。 | 個別に調査を行った価格の適用を想定しています。 |
| 140 | 特記仕様書 | 番号 158 項目番号 17-(30) 項目 コンクリート表面処理工 | コンクリート表面処理についてはWJ工法による施工と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。 | WJ工法による施工とお考え下さい。 |
| 141 | 特記仕様書 | 番号 159 項目番号 17-(31) 項目 はく落防止対策工 B1 | はく落防止対策工の計上方法について、連続繊維シート貼付工と連続繊維シート接着工の両方と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。 | 土木工事共通仕様書17-10-4に基づき、連続繊維シート接着工を計上するものとお考え下さい。 |
| 142 | 金抜設計書 | 番号 170～171 項目番号 特-(1) 項目 水平力分担構造 | 水平力分担構造の各部材(鋼板)について規格・厚み・穴あけ等エクストラの計上はありますでしょうか。ご教示下さい。 | 発注者の積算は、必要なエクストラを計上することを想定しております。 |
| 143 | 金抜設計書 | 番号 187 項目番号 特-(5) 項目 支承改良工 上沓ストップパー切断 | 上沓ストップパー切断について既設支承は一度取外して一部を切断するとお考えでしょうか。ご教示下さい。 | 特記仕様書24-26-3に記載のとおりお考えください。 |
| 144 | 金抜設計書 | 番号 188 項目番号 特-(6) 項目 主桁改良工 桁端部切断 | 桁端部の切断方法について出典歩掛等詳細をご教示下さい。 | 発注者の積算は、橋梁架設工事の積算4.5.2(5)補修工事ガス切断仕上げ工（極小規模補修工事ガス切断切削仕上げ工）を想定しております。 |
| 145 | 金抜設計書 | 番号 191～205 項目番号 特-(8) 項目 上部工炭素繊維工 | 炭素繊維シートを既設の主桁コンクリート面に接着する参考歩掛について、ご教示ください。 | 発注者の積算は、橋梁架設工事の積算4.13.3(5)炭素繊維シート接着工の準用及び市場単価の準用を想定しております。 |
| 146 | 金抜設計書 | 番号 206 項目番号 特-(8) 項目 上部工炭素繊維補強工 炭素繊維補強表面仕上工A | 炭素繊維表面仕上工について、表面仕上げ厚は何mmと考えて計上すればよろしいでしょうか。ご教示ください。 | 特記仕様書24-29-2に基づきお考え下さい。 |
| 147 | 金抜設計書 | 番号 223 項目番号 特-(15) 項目 鉄道保安要員 列車見張員A | 列車見張員Aの単価出典元及び割増対象賃金比をご教示下さい。 | 個別に調査を行った価格の適用を想定しています。貴社にて必要な費用を計上して下さい。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | |
|----|------------------|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 |
|----|------------------|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質問事項 | 回答（発注者使用欄） |
|-----|-------|--|--|---|
| 148 | 特記仕様書 | 24. 工事細部に関する事項 24-2 施工時間帯による単価表の表記区分 | 昼夜間連続作業とは①8:00～20:00、20:00～8:00の24時間作業 ②8:00～17:00、20:00～5:00の16時間作業のどちらでしょうか、御教示下さい。 | 発注者の積算は、①8:00～20:00、20:00～8:00の24時間作業を想定しております。 |
| 149 | 特記仕様書 | 17. 再生資源及び建設副産物に関する事項 17-2 建設副産物の活用等 (2)再資源化（最終処分）をする施設の名称及び所在地 | コンクリート(有筋)の処分先名称及び所在地の記載がありません。施設はどちらをお考えでしょうか。ご教示下さい。 | 特記仕様書に誤りがございました 正しくは、コンクリート塊（無筋）と同様の施設で考えています。 上記については交付図書を訂正いたします。 |
| 150 | 特記仕様書 | 24. 工事細部に関する事項 24-4 構造物掘削 24-4-1 種別 (2)構造物掘削における締切の内容は下表のとおりとする。 | 特殊部A1 鋼矢板Ⅲ型 P15橋脚 想定最大N値525、P16橋脚 想定最大N値700、特殊部A2 鋼矢板Ⅳ型 P17橋脚 想定最大N値350、との記載があり設計図面44/523 P15橋脚 2か所継、設計図面47/523 P16橋脚 2か所継、設計図面49/523 P17橋脚 5か所継及び6か所継、となっています、硬質地盤+継施工の積算準拠図書又は歩掛についてご教示ください。 | 発注者の積算は、硬質地盤クリア工法鋼矢板圧入標準積算資料の継手ありを想定しております。 |
| 151 | 特記仕様書 | 24. 工事細部に関する事項 24-7 落橋防止構造 24-7-2 作業内容 | 鋼製ブラケットA～鋼製ブラケットCに記載の上部工付きブラケットの製作、下部工付きブラケットの製作は土木工事積算基準 令和7年度版 15-14頁 3-13一般鉄骨構造の製作として積算し、桁等の制作費として計上されていると考えて宜しいでしょうか、ご教示ください。 | 発注者の積算は、土木工事積算基準第31編3-4-2縁端拡幅工Mの製作費（鋼上部工工事以外）を想定しております。 |
| 152 | 特記仕様書 | 24. 工事細部に関する事項 24-7 落橋防止構造 24-7-2 作業内容 | NEXCO 積算基準書31-40頁 ⑤代価表は落橋防止装置の設置、ブラケットの設置を含んでいますが、特記仕様書の作業内容の欄では上部工付きブラケット、落橋防止構造の設置、下部工付きブラケットの設置が区分されています。落橋防止構造の設置準拠歩掛についてご教示ください。 | 発注者の積算は、土木工事積算基準第31編3-8(8)落橋防止装置取付工を想定しております。 |
| 153 | 特記仕様書 | 24. 工事細部に関する事項 24-7 落橋防止構造 24-7-2 作業内容 | 3) 上部工付きブラケット、落橋防止構造の製作、防せい、輸送、設置 及び 1)・2) 下部工付き鋼製ブラケットの製作・防せい・輸送について 輸送距離は長野県庁～各工事箇所と考えて宜しいでしょうか、ご教示ください。 | そのとおりとお考え下さい。 |
| 154 | 特記仕様書 | 24. 工事細部に関する事項 24-9 横変位拘束構造M 24-9-2 作業内容 | 鋼製ストッパーa(b) 作業内容 3) 荷下ろし場所から設置場所までの部材の運搬とありますが、距離はどの程度と考えて設置すると考えますでしょうか。また、ここでの部材とは何を指しますでしょうか。ご教示下さい。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。ここでの部材は、鋼製ストッパーa(b) を指しています。 |
| 155 | 特記仕様書 | 24. 工事細部に関する事項 24-23 上部工補強工 24-23-2 作業内容 | 3) 上部工補強工の架設 との記載がありますが、架設歩掛についてご教示ください。 | 発注者の積算は、土木工事積算基準第31編3-8(7)補強部材取付工を想定しております。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | | | |
|----|------------------|--|--|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 | | |
|----|------------------|--|--|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質 問 事 項 | 回答（発注者使用欄） |
|-----|-------|------------------------|--|---|
| 156 | 割掛対象表 | 工事用道路設置撤去工費 | コンクリート舗装の新設の際に、使用するコンクリートについてはH1-1と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。 | 貴社にて必要な費用を計上して下さい。 |
| 157 | 割掛対象表 | 工事用ヤード整備費 | ヤード整備の際の大型土のう袋については短期仮設 1 年対応のものを用いると考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 158 | 割掛対象表 | 工事用ヤード整備費 | 工事用ヤード整備費について、大型土のう並びに敷鉄板費は設置だけでなく撤去費用も含め計上すると考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。 | 特記仕様書及び割掛け参考内訳書に誤りがございました。発注者の積算では、工事用ヤード整備費には原形復旧に要する費用を含むことを想定しております。 上記については交付図書を訂正いたします。 |
| 159 | 設計図 | 設計図面 2/523 数量総括表(1) | 羽尾橋 P1橋脚 コンクリートA1-3 3.8m3 は沓隠し版復旧と考えて宜しいでしょうか、御教示下さい。 | そのとおりとお考え下さい。 |
| 160 | 設計図 | 設計図面 2/523 数量総括表(1) | 犀川橋 上り線 AP8 コンクリートA1-5 32.2m3と記載されていますが、設計成果品 犀川橋下り線補強数量計算書 AP8橋脚数量計算でコンクリートA1-5 32.0m3と記されており差異が生じていますのでご確認をお願い致します。 | 閲覧資料に関する質問についてはお答えできません。公告図書を正としてお考え下さい。 |
| 161 | 設計図 | 設計図面 2/523 数量総括表(1) | 犀川橋 下り線 BP7 コンクリートA1-5 32.2m3と記載されていますが、設計成果品 犀川橋下り線補強数量計算書 BP7橋脚数量計算でコンクリートA1-5 32.3m3と記されており差異が生じていますのでご確認をお願い致します。 | 閲覧資料に関する質問についてはお答えできません。公告図書を正としてお考え下さい。 |
| 162 | 設計図 | 設計図面 2/523 数量総括表(1) | 犀川橋 下り線 BP9 コンクリートA1-5 29.7m3と記載されていますが、設計成果品 犀川橋下り線補強数量計算書 BP9橋脚数量計算でコンクリートA1-5 27.9m3と記されており差異が生じていますのでご確認をお願い致します。 | 閲覧資料に関する質問についてはお答えできません。公告図書を正としてお考え下さい。 |
| 163 | 設計図 | 設計図面 2/523 数量総括表(1) | 犀川橋 下り線 BP10 コンクリートA1-5 31.6m3と記載されていますが、設計成果品 犀川橋下り線補強数量計算書 BP10橋脚数量計算でコンクリートA1-5 31.7m3と記されており差異が生じていますのでご確認をお願い致します。 | 閲覧資料に関する質問についてはお答えできません。公告図書を正としてお考え下さい。 |
| 164 | 設計図 | 設計図面 3/523 数量総括表(2) | 窪河原橋、更埴JCT-Cランプ 橋について 鉄筋T 記載数量に組立アンカー筋の数量が含まれていますが、犀川橋、御麓橋、羽尾橋については組立アンカー筋の数量が含まれていない数量が記載されています、組立アンカー筋の数量を数量総括表に記載の数量に含むのか含まないのかについてご教示ください。 | 数量総括表に誤りがございました 正しくは、組み立てアンカーを含まない数量が正です 上記については交付図書を訂正いたします。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 | | | |
|-----|------------------|---------------------------------------|--|--|
| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質 問 事 項 | 回答（発注者使用欄） |
| 165 | 設計図 | 48～49/523 | 犀川橋P17橋脚の耐震補強工について、概略工程表では「掘削」「圧入」「炭素繊維巻き立て」の各作業を含め、約5か月間で完了する計画となっております。そこで確認ですが、これらの各作業については、何パーティーでの施工をお考えでしょうか。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 166 | 設計図 | 48～49/523 | 犀川橋P17橋脚の鋼矢板圧入において、現地調査計測の結果、上空制限により通常の施工ができない場合は施工方法について協議の対象となりますでしょうか。 | 設計変更協議の対象にはなりません。ただし、現地状況と公告図書との差異などにより、条件変更が生じる場合は設計変更協議の対象になります。 |
| 167 | 設計図 | 322/523 | 吊足場工費（防護型側面）A～Gについて、安全ネットの設置は必要でしょうか。また、必要な場合は、側面および床面に全面設置する認識でよろしいでしょうか。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 168 | 設計図 | 212/523 | 仮締切工の遮水シートについて設計成果品の数量計算書では設置数量の記載がありますが、設計図には記載がありません。どちらを正と考えればよろしいでしょうか。 | 閲覧資料に関する質問についてはお答えできません。公告図書を正としてお考え下さい。なお、契約締結後の関係機関協議の結果により本工事に追加する可能性があります。これに要する費用は、別途監督員と協議し定めるものとお考え下さい。 |
| 169 | 特記仕様書 | P43 ～44 | 鋼製ブラケットB1およびB2について、近接調査工の記載が見当たりませんが、当初設計では計上していないという認識でよろしいでしょうか。 | 特記仕様書に誤りがございました。正しくは、近接調査工は計上するものとお考え下さい。上記については交付図書を訂正いたします。 |
| 170 | 設計図 | 326/523 | 補強リングに使用するアンカーボルト（M22×250）およびナット・座金については、材料表では14本となっておりますが、4本／リング × 4リングで、合計16本となるのではないのでしょうか。 | 設計図の数量でお考え下さい。 |
| 171 | 設計図 | 326/523 | アンカーボルトのアンクルについて長さをご教示願います。また、補強リングとアンクルの取付方法はどのようにお考えでしょうか。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 172 | 設計図 | 309/523 | 総括表（1）（2/523）には「8-（1）コンクリートA1-3」と記載されていますが、設計図（309/523）では「復旧使用材料 コンクリートA1-5」と記載されています。この相違について、どちらを適用すべきかご教示いただけますでしょうか。 | 設計図に誤りがございました。正しくは「復旧使用材料コンクリートA1-3」とお考え下さい。上記については交付図書を訂正いたします。 |
| 173 | 設計図 | 142, 146, 160, 164, 181, 193, 196/523 | アンカー工詳細図において、ねじ切り長および溶融亜鉛めっき長が図示されていますが、注記には「ねじ切り部のみめっきを施す」と記載されています。この場合、どちらの仕様が正しいと考えればよろしいでしょうか。 | 設計図に誤りがございました。正しくは「ねじ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すもの」とお考え下さい。上記については交付図書を訂正いたします。 |

技術図書に関する質問に対する回答

| | |
|----|------------------|
| 件名 | 長野自動車道 犀川橋耐震補強工事 |
|----|------------------|

| 番号 | 質問対象 | 質問箇所 | 質 問 事 項 | 回答（発注者使用欄） |
|-----|-------|------------------------|---|---|
| 174 | 設計図 | 6/523 | 「P1M-1457」の2本については、更埴JCT・Cランプ橋P3起点側に該当する認識でよろしいでしょうか。 | 設計図に誤りがございました 正しくは、P1M-1457(250)の数量2本は更埴JCT-Cランプ橋P3橋脚(起点側)になります。 上記については交付図書を訂正いたします。 |
| 175 | 設計図 | 339/523 足場工費及び吊足場工費 | 更埴Cランプ橋の鉄道近接箇所については、FRP製足場を使用する計画となっておりますが、使用する足場材はパイプ形状のものと考えてよろしいでしょうか。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 176 | 設計図 | 339/523 足場工費及び吊足場工費 | 更埴Cランプ橋の鉄道近接箇所に使用する、FRP製足場材の数量をご教示願います。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |
| 177 | 金抜設計書 | 224番 | 停電作業者Aについては、単価表記号「(夜2)」に該当し、作業時間は約4時間程度となっております。この場合、費用は1日分として計上されておりますでしょうか。 | 発注者の積算は、1日分として計上することを想定しております。 |
| 178 | 特記仕様書 | P6～7 7-3作業時間 | 単価表の項目末尾に記載されている記号「(夜1)」については施工時間が約7時間、「(夜2)」については施工時間が約4時間程度となっております。これらに該当する単価項目は、『時間的制約を著しく受ける場合』として、労務費補正の対象となりますでしょうか。 | 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 |